

スクリーニングクリームを露出部に塗布し、20 日後に略治した。その後も、6 ヶ月は紫外線防御を指導し、皮疹の再燃は認めていない。

## (2) フマル酸ケトチフェン点眼液によるアレルギー性接触皮膚炎

[症例 2] 60 歳代、女性

(家族歴) 特になし

(既往歴) 高血圧。接触皮膚炎の既往はない。ピリン、サルファ剤で固定薬疹。

(主訴) 4 ヶ月続く難治な眼瞼から周囲の皮疹

(現病歴) 初診の 4 か月前に、目のまわりがだんだん赤くなった。アレルギー性結膜炎と診断され目薬を使用した。あまり改善せず、2 ヶ月前にプロピオン酸アルクロメタゾン軟膏を使用した。改善せず 2 週間前からケトチフェン点眼液を使用開始し 5 週前に症状が悪化した。

(現症) 両側の眼瞼および眼周囲、特に内眼角から頬には痒みを伴う紅斑・浮腫、一部は丘疹を認めた (図 4)。

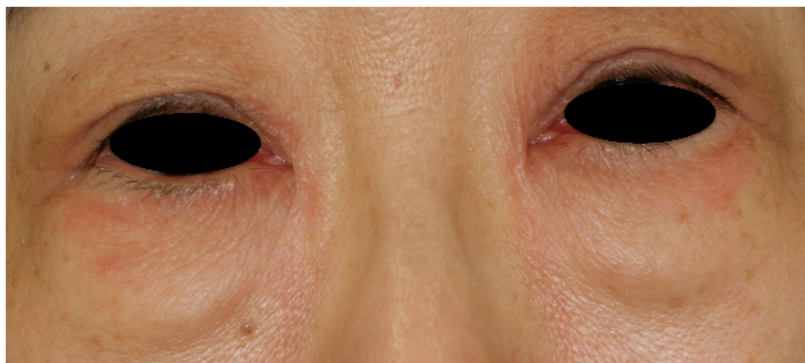


図 4. 上眼瞼、下眼瞼から頬にかけて痒みの強い紅斑と浮腫がみられる。

(検査所見)

末梢血：血算は異常なし 好酸球 3%

生化学検査：肝機能 正常 腎機能 正常

非特異的 IgE 23.6 IU/ml 特異 IgE ヤケヒョウヒダニ イヌジョウヒ  
ネコノフケ ハンノキゾク シラカンバゾク スギ ハルガヤ ブタク  
サ ヒノキ すべて陰性

パッチテスト結果：フマル酸ケトチフェン点眼液 1 週間後 強陽性

成分のフマル酸ケトチフェンは 0.005% 水溶液まで強陽性 0.0001% 水溶液まで陽性 (図 5)。